

保護者の皆様へ

亀山市立関小学校
校長 草川 裕美子

南海トラフ地震等の巨大地震情報に伴う学校の対応について

このことについて、保護者の皆様には以下の点についてご理解いただき、適切な措置をとっていただきますようお願いいたします。

なお、学校からの連絡や対処については、「つながる連絡」や学校配信メール等による緊急連絡を行いますのでご了解ください。

大地震発生時の対応についてもご確認ください。

記

< 1 > 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合

南海トラフ地震臨時情報そのものは、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについて気象庁から発表される情報であるため、即時に休校等の措置とはなりません。状況に応じての判断となります。

◎ 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合の学校の対応

- ・教職員は南海トラフ地震臨時情報を共有し、今後の対応等について協議します。
- ・校内の施設、設備、通学路の安全点検や備蓄品等の確認を行います。
- ・児童に、地震発生時の行動や避難経路、避難場所、家庭との連絡手段等の確認を行います。

◎ 場合によっては学校で待機させ、保護者に連絡を行った上で児童を引き渡します。

- ・関係機関と連絡をとりながら必要に応じて避難者の受け入れ準備を行い、情報収集を行います。

【南海トラフ地震臨時情報発表までの流れ】



※臨時情報の評価結果で巨大地震警戒、巨大地震注意が発表されたときは臨時休校となります。

登校後に発表されたときは、授業を中止し帰宅の準備をさせます。

< 2 > 大地震が発生した場合（震度5強以上）

1 登校前に大地震が発生した場合

- 登校させないで下さい。学校から連絡があるまで自宅待機となります。
- 被害の程度や通学路の状況を確認し、臨時休校とする場合があります。
- 被害が少なく通学路の安全が確認され、当日の授業実施が可能な場合は、当日の授業を午後から行う可能性があります。実施の可否は「つながる連絡」等でお伝えします。
- 授業を実施する場合でも、登校に支障があるときは保護者の判断で自宅待機を続けるなど適切な処置をとってください。

2 登下校中に大地震が発生した場合

- 学校は、可能な限り校区の状況把握を行い、児童の安全確保に努めます。
- 危険な場合は学校で待機させ、待機させた児童の保護者に個別に連絡を行い、引き渡しカードをもとに、お子様を引き渡します。
- 児童が学校以外の場所に避難している可能性がある場合は、避難場所の特定と安否確認を行います。

3 始業後に大地震が発生した場合

- 学校は直ちに授業を中止し、帰宅の準備をさせます。
- 保護者はお子様の引き取りに学校までお越しください。「つながる連絡」等で連絡を行います。

4 大地震が発生した翌日やそれ以降の日の対応

- 学校から連絡があるまでは自宅待機とし、登校させないでください。
- 学校や通学路の被害状況、余震の有無等から判断し、臨時休校とする場合があります。
- 学校・通学路を中心に校区内の安全が確認されたら、学校活動（授業）を行います。登校時刻や時間割等は「つながる連絡」等で行います。
- 状況に応じて保護者の方の判断で、自宅待機等の適切な処置をとってください。

5 その他

- 経験したことのない巨大地震に備え、共助・公助・自助の視点に立ち、日ごろから家庭・学校・地域で防災安全について学びあい、災害リスクや被害を最小限に抑えていく取り組みを進めていきたいと考えます。